

恵庭中島市長が語る！！ 花の街・恵庭のまちづくりと展望

(社)技術士会北海道支部リージョナルステート研究会

近年、人口減少や高齢化、環境や景観との調和、団塊世代のリタイヤー問題などが急速に現実の課題となるなか、恵庭市では、ガーデニングによる美しいゆとりのあるまちづくりに関心を持つ市民が増えている。恵庭市には、全国からオープンガーデンの見学ツアーが訪れ、花の街に心を動かされて転居する人もでてきた。

こうした、「花のまちづくり」をひとつのテーマとして熱心に活動されてきた、もと市議会議員の中島さんが市長に選出された。

中島市長には、これまでの地域での先進的な取り組みや体験、今後の新たなまちづくりへのチャレンジへの抱負などについてご紹介いただき、「新しいまちづくりやライフスタイル」のあり方を考える。

開催日時：平成18年1月16日(月)、18:00～19:30

開催会場：札幌エルプラザ 4階 A会議室

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目(札幌駅北口正面)

TEL:728-1222(代) FAX:728-1229

プログラム：

開会挨拶：(社)技術士会北海道支部リージョナルステート研究会長 市村 一志 氏

講演：中島 興世 氏 (恵庭市長)

「花の街・恵庭のまちづくりと展望」

閉会挨拶：リージョナルステート研究会観光分科会座長 宮武 清志 氏

なお、講演終了後、1～2時間程度札幌エルプラザ 地下1階「高田屋」で、「中島市長を囲む懇親会」を予定しています。

会場確保の都合上、参加希望者は、下記にご記入し返信してください。

参加申込は**1月12日**(木)までに、必要事項を記入しこのページのままFAX又はメールでご返信ください。

参加申込先:FAX 送信 011-801-1591

E-mail hh672@docon.jp

担当：RS 研究会幹事/日浅

お問い合わせ：TEL 011-801-1590

| お名前 | 所属・役職等 | 連絡先(メールアドレス) | 懇親会参加希望者のみを記入 |
|-----|--------|--------------|---------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

恵庭市議会議員

なかしま 中島 興世

ガーデニングに関心を持つ人を対象にして、緑豊かな農村に広い敷地の住宅地を造りたい。花のまちづくりへの共感の広がりとともに、恵庭でガーデニングをしたいと夢を抱いて転居



してくる人が増えてきた。花の街・恵庭に心を動かし、引っ越しを決意させるまでになってきた。うれしいことだ。

ガーデニングに真剣に取り組みようとする人の多くは、五百平方メートル以上の宅地を求める。しかし、そんな広い宅地はない。市街化区域では二百五十平方メートル

ガーデニングに合う宅地を

いったところだ。ここに問題とチャンスがある。

世界各地のガーデニングを視察し、また恵庭での花のまちづくり運動から、北海道はガーデニングアイランドとして世界一になる可能性を持っていることを知った。大自然を背景にした植生の豊かさ、生け花の伝統に培われた日本女性の豊かな感性は世

私の発言

界に冠たるものだ。しかし、現状では園芸大国・イギリスやニュージーランドのクライストチャーチに追いつくことは至難

だ。それは庭の面積が狭すぎるからだ。素晴らしい素養を持つ日本女性にイギリスにも負けないガーデニングを展開できるチャンスを広げたい。

一九九八年に優良田園住宅建

設促進法が制定された。この法律を使うと、一千平方メートルの宅地を造ることも可能だ。農地を利用するので価格も安くできる。

大規模な開発はできない制度だが、それで良い。募集すると高い競争率になるだろうから、選考の結果、ガーデニングに情熱を持った人だけが集まる美しい地域が出現するはずだ。

花のカントリーホーム構想と呼ぶことができようか。事業化できる可能性のある地域は多い。各地で具体化していくことで世界一のガーデニングアイランド・北海道への道を開いていくことができる。(恵庭)

投稿は700字、顔写真を添えて〒0660・87-11(住所不変)、北海道新聞編集局「私の発言」係へ。電子メールはhatugen@ho-kkaido-np.co.jp